

# 恒心会 おぐら病院 松窪 誠人さん

## 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 修了

### ★受講を決めたきっかけ★

退院前在宅訪問を実施した際に、血糖コントロールを頑張っているのにうまくいかずに困っている患者さんご家族に出会い、糖尿病を持ち在宅で生活する方の困りごとに直面しました。なにかおい手伝いできるように知識や技術を高めたいと考えて調べると、筑豊地区が糖尿病療養指導に力を入れていること、糖尿病看護認定看護師の育成を行っていた大学が血糖コントロールに係る薬剤投与関連の研修を始めたと知りました。特定行為研修を受講することで目標達成に近づくと考えて職場に相談し、上司の後押しもあって受講が叶いました。

### ★働きながら受講したこと（e-learning視聴や集合研修等）

e-learning視聴は、勤務時間外に行いました。複数回の視聴で理解が深まりますが、勤務やプライベートとの調整が難しかったです。月に数回（連日）の集合研修は、大学近くのホテルに泊りがけで公休を使って受講しました。休み希望など、部署の上司・同僚の理解があってこそその参加でしたが、鹿児島から筑豊地区まで車で通う道中の事故が心配でした。zoom参加は、移動の時短になり有難かったです。集合研修では、病態や解剖生理、薬理、臨床推論の学びを仲間や講師とディスカッションして、広い視野で患者の状態を評価できるようになったと思います。

### ★臨地実習で経験したこと

事前に教員と相談して、5週間の実習期間のうち、第1週と第3週に連日で実習することになりました。これまで6日間も一人で過ごしたことはなかったし、子どもが小さいので家を空けることが心配でしたが、家族の協力で乗り切れました。初めての病院、慣れない電子カルテでの情報収集や医薬品の選択・調整に戸惑いましたが、指導医・メンター(特定認定Ns)や仲間の支えて進めることができました。特に、複数の指導医とのディスカッションで、病態と治療に関する理解を深めたうえで生活者の視点を踏まえた特定行為を検討・実践することで、より深い学びを得て所属施設で活動するイメージを持つことができました。15症例の経験を10日間で行ったので、駆け足過ぎた部分もありましたが、実践後に記録を振り返ることでより深めることができましたと感じています。

### ★研修修了後の看護実践(変化したことなど)

生活者としての視点を持つこと、身体はつながっているのも一つの事象だけでなく全身を見ることを意識して、日々の実践に取り組んでいます。入院されている方に自宅での過ごし方や楽しみなどを尋ねるようになり、会話が広がりました。それを踏まえて医師とディスカッションできるようになり、看護の役割を担っていると感じられ、周囲から頼りにされるとモチベーションが上がります。

研修を通して自分のことを深く知り課題が明確になったので、達成できるように精進しています。

### ★これから研修受講を考えている方へ

研修を修了し、多角的に患者を見るための知識やアセスメント力で特定行為と看護を結び付け、継続して支援することが効果的な介入になると実感しています。入院在院日数が短縮されていく中で重症化を防ぐことや地域医療への貢献が課題であり、今後より多くの看護師が特定行為を受講し、課題達成につながればと考えています。